



発行/2019年3月27日 発行者/(公社)新潟県栄養士会上越支部 上越栄養ケアステーション

### 訪問栄養指導 対応事例

これまでは、訪問栄養指導の概要について発信してきました。  
Vol.4では、実際の訪問栄養指導事例をご紹介します。

- 事例 : A様 83歳 女性 要介護2(週2回デイサービス利用中)
- O A D L : 立ち上がりや立位保持が不安定で、ポータブルトイレ軽介助レベル
- 疾患名 : 誤嚥性肺炎 糖尿病 脳梗塞後遺症
- 身体状況 : 身長 154cm 体重 47kg BMI 19.8cm
- 栄養評価 : 血清アルブミン値:3.0g/dl 下腿周径:27.3cm MNA-SF:5点
- 家族構成 : A様、長男夫婦 (キーパーソン:長男の妻)



かかりつけ医

お粥を少量食べる程度で栄養量が不足しているため、家族に対して食事内容やミキサー食の作り方を指導してほしい。



長男の妻

食事が上手に作れない...  
作っても食べてくれないし...

嫌いなものを出されても食べられないわ。



A様

#### 訪問時に管理栄養士がアドバイスした内容



ポイント

- ・食事を摂取する体力が低下していたため、好きな物(南瓜や大根の煮物)からでも、まずは食べてもらう。
- ・ミキサー食や、適切なトロミの付け方(調理指導)。
- ・市販品のアレンジ方法など。
- ・デイサービスと情報共有し、口腔ケアや嚥下体操の実施、食事摂取量や体重測定に依頼をした。



デイサービス



担当管理栄養士

最初は約500kcalの摂取量でした。  
今は食欲が回復して約1000kcal  
摂取できるようになりました。  
体力もついてきましたね。

食欲が出てきました。  
介助がなくてもポータブルトイレ  
を使えるようになったわ。

食事作りのストレス  
がなくなりました。  
食べてくれるように  
なって嬉しい。



訪問栄養指導は、家庭での食事実態を把握でき、支援をしながら相談を受けられるという利点があります。ご利用に関するご相談は、下記までご連絡ください

【問い合わせ先】

新潟県栄養士会上越支部 上越地域栄養ケアステーション

(上越地域在宅医療推進センター内) TEL 025-520-7500 / FAX 025-520-8686